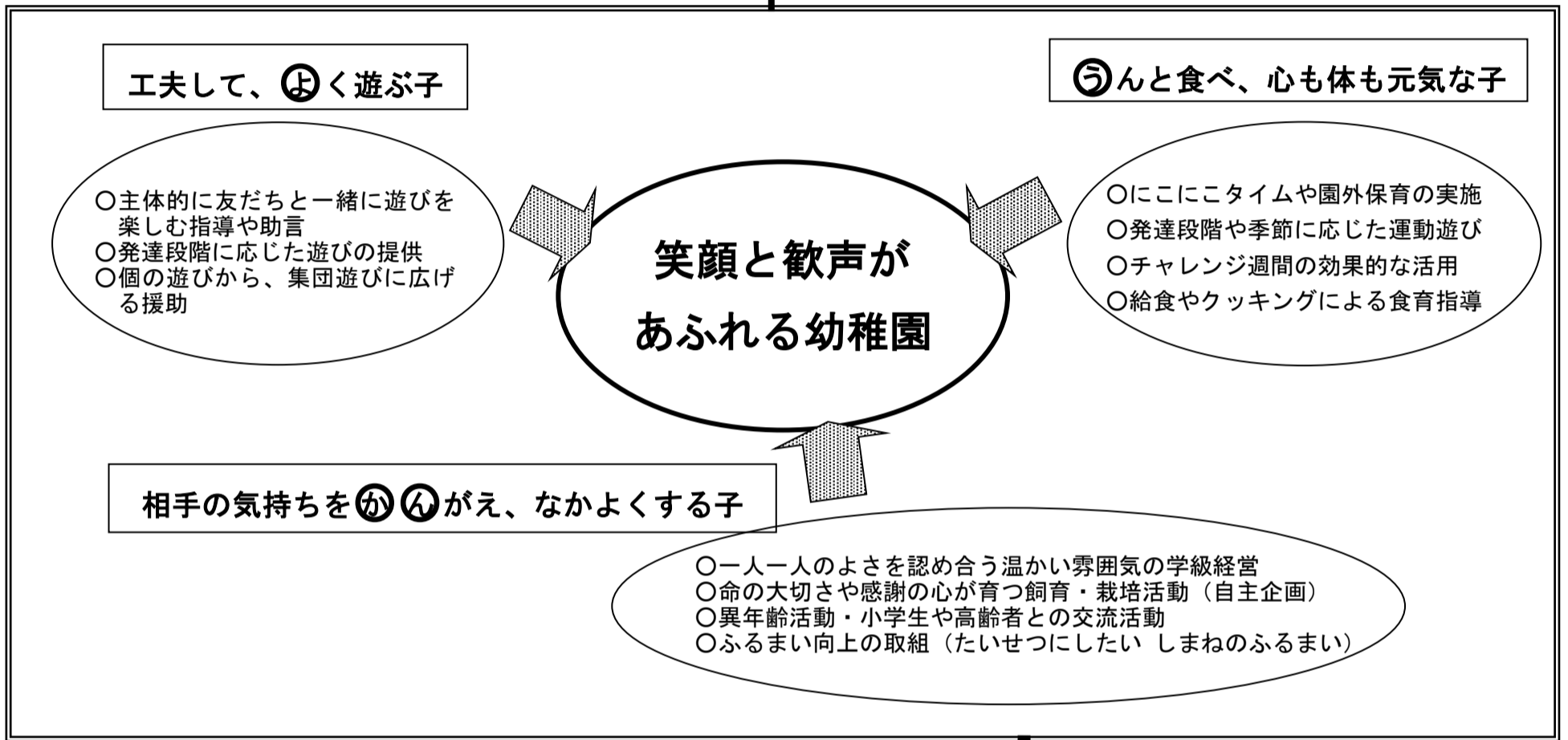
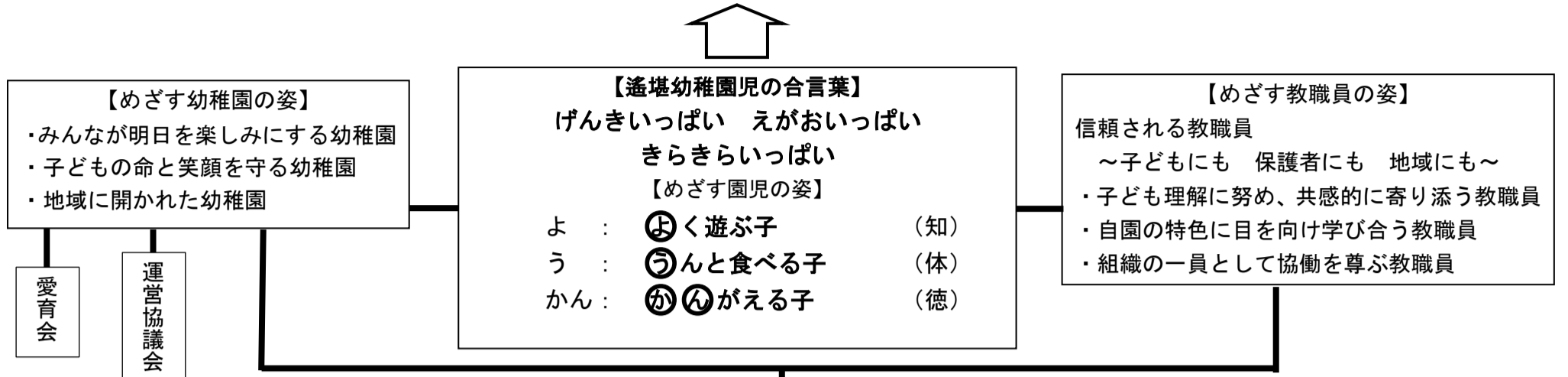


4. 園経営 2023

教育目標 自分で考える ころ豊かで たくましい園児の育み



- 【経営の基本方針】
- 子どもたちが生き生きと目を輝かせ『笑顔と歓声があふれる幼稚園』づくり
- 【経営の重点】
- 1 幼稚園や地域の特色を生かした教育課程の編成と実践
    - ・一人一人の子どもの個性を受け止め、「発達の理解」に基づいた環境を構成する。
    - ・P-D-C-Aを重視し、計画的に指導を行う。
  - 2 心の教育の充実
    - ・「ひと・もの・こと」と関わる活動をとおして、幼児期にふさわしい道徳性の芽生えや心を育む。
    - ・「ふるまい向上」の定着を図る。
    - ・「自分大好き・友だち大好き」と言える子どもを育てる。
    - ・一人一人の子どもの思いや願いに寄り添い、指導や援助を行う。(進路保障)
  - 3 学び(意欲・関心)が高まる指導や援助
    - ・子どもの関心を掴み、広げる、深める。
    - ・工夫したり、粘り強く取り組んでいる様子を認めたり引き出したりする。
  - 4 健康教育、食育の推進
    - ・基本的な生活習慣・望ましい食生活の定着を推進する。
    - ・発達段階や季節に応じた体力づくりを計画する。
  - 5 開かれた幼稚園づくり
    - ・積極的な情報の発信や受信に努める。
    - ・PTA・地域学校運営協議会・各種関係機関との連携を図り、経営に活用する。
  - 6 教育環境の整備・充実
    - ・常に危機管理意識をもち、迅速で適切な対応をする。
    - ・適切な環境整備によって、保育効果を上げる。
  - 7 温かさや厳しさのある教職員組織の確立
    - ・「お互いさま」「ありがとう」の精神で、協働意識をもつ。
    - ・研修・研鑽に努め、指導力を高め合う。
    - ・保護者の気持ちに共感して対応する。

同和教育をすべての保育活動の基底に据える

- ・認め合い、助け合う支持的な風土づくり
- ・一人一人に寄り添った支援

- 【本年度の重点項目】
- ふるまい向上の取組
    - ・自分から進んであいさつすることができる
    - ・自分の思いを話すことができる。
    - ・聞き方の約束(相手の目を見て聞く。)
  - 「ひと・もの・こと」を活かした保育活動
    - ・地域を活用した自主企画事業の実施
    - ・遙堪のよさに気づく体験活動
    - ・異年齢活動・小学生や高齢者との交流
  - 基本的生活習慣の定着
    - ・発達段階に応じた運動遊び・集団遊び
    - ・給食やクッキングによる食育指導
    - ・早寝、早起き、朝ごはんの推進
  - 保幼小連携の充実
    - ・小学校にスムーズにつながる取組